

1 月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成30年1月25日(木)
開催日時	午後3時00分
開催場所	市役所別館 3階会議室
出席委員	教育長 三笥 眞治郎 職務代理者 諫本 憲司 委員 永山 真江 委員 岡部 博昭 委員 佐藤 るり 委員 木下 靖郎
出席参与	教育次長 鈴木 俊行 教育総務課長 江田 正彦 学校教育課長 仲 はるみ 社会教育課長 池田 寿生 文化財保護課長 梶原 康弘 兼 博物館長 咸宜園教育研究センター長 竹尾 秀広 淡窓図書館長 原田 豊司 兼 世界遺産推進室長 体育保健課長 河津成一郎 学校給食センター長 永瀬 常富 人権・同和教育室長 伊藤 伸也
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 衣笠 雄司
附議議案	議案第1号 平成29年度咸宜園教育顕彰事業の受賞者決定について 報告第1号 平成29年12月期寄附採納について

教 育 長	<p>それでは、ただいまから1月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>まず、12月定例教育委員会の議事録について変更はございませんでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）それでは、会議終了後に署名をよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の報告事項でございますが、お手元に配付しております資料によりまして、報告にかえさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第1号について、事務局より説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第1号、平成29年度咸宜園教育顕彰事業の受賞者決定についてでございます。</p> <p>議案集の1ページをお願いいたします。平成29年度の咸宜園教育顕彰事業につきまして、咸宜園教育顕彰事業審査会から受賞候補の答申がございましたので、各賞の受賞者の決定をお願いするものでございます。咸宜園教育研究センターから御説明申し上げます。</p>
咸宜園教育研究センター長	<p>咸宜園教育研究センターでございます。</p> <p>議案集の1ページをお願いいたします。議案第1号、平成29年度咸宜園教育顕彰事業の受賞者決定について御説明をいたします。</p> <p>平成29年度の咸宜園教育顕彰事業の受賞者を、次の者に決定してよいかお諮りをするものでございます。</p> <p>初めに、咸宜園教育顕彰事業について御説明いたしますので、次の2ページをお開きください。平成29年度（第7回）の咸宜園教育顕彰事業についてと書いてありますその下の黒い四角のところの咸宜園教育顕彰事業とはというところでございます。</p> <p>市では、廣瀬淡窓や咸宜園教育の理念とその業績を顕彰し、さらに継承するため、平成23年度から本事業を創設しているものでございます。廣瀬淡窓や咸宜園の調査・研究活動の発展に寄与する論文や著作物、又は淡窓が実践した咸宜園教育の普及に貢献した個人及び団体の活動などを「咸宜園の日」記念事業において表彰するものでございます。</p> <p>そのページの中段以降につきましては、募集内容、募集期間、応募方法等を記載しております。</p> <p>今年度の応募件数につきましては、学術研究部門が3件、教育文化部門が1件でございました。昨年12月17日に当センターの専門委員会の委員により学術研究部門の審査会を、それから、同じくセンターの運営委員会の委員により教育文化部門の審査会を開催いたしまして、それぞれの審査を行っていただいたところでございます。</p>

審査の結果につきましては、1 ページにお戻りください。

こちらの表によりまして説明させていただきます。

表に書いておりますが、廣瀬淡窓賞及び学術研究部門につきましては、今回該当はございませんでした。廣瀬淡窓賞とは、学術研究部門及び教育文化部門の受賞者のうちで、特に秀でた作品や活動等に対しまして、各部門の表彰とは別に贈呈するものでございます。

その下の教育文化部門につきましては、今回優秀賞の候補者が選定されましたので、御報告を申し上げます。優秀賞のお名前と団体名は、淡窓研究会でございます。作品及び活動名は、廣瀬淡窓並びに咸宜園教育関係者の顕彰及び学術研究。また関東方面に在住している日田及び咸宜園関係者の交流・情報交換等でございます。

この淡窓研究会について少し御説明を申し上げますと、この団体につきましては、昭和42年に廣瀬正雄氏と中島市三郎氏、それから、お茶の水女子大学名誉教授で教育史学者の石川謙氏、石川謙氏の息子さんで日本女子大学教授の石川松太郎氏の4名の会合をきっかけに当初発足いたしております。当初は、淡窓会（東京）と称しておりました。当初、研究会の会長には石川謙氏、その後、東京大学名誉教授で哲学者の古川哲史氏が会長を務めまして、会が続けられておりましたが、平成元年に一時休会となっております。その後、平成12年に廣瀬貞雄氏を会長として再開されまして、現在まで活動を行っているといった状況でございます。

12月17日に開催されました審査会におきましての、教育文化部門の評価でございますが、昭和42年の発足以来、一時の休会を挟みつつも、平成12年に再開されて以降、廣瀬淡窓や咸宜園教育に関心を有する研究者を中心に年2回、これは6月と12月でございますが、年2回の研究会が継続されていることや、「淡窓研究会会報」という会報誌を刊行し淡窓や咸宜園についての普及・啓発活動に努めてこられたことが評価をされました。

さらに、東京における研究会として、日田市出身者や廣瀬淡窓、咸宜園について興味・関心を寄せる方々が参加し、情報交換の場となっていることも、今回の教育文化部門の受賞候補の対象となった要因でございます。

今回、議案を上程した理由といたしましては、咸宜園教育顕彰事業審査会の答申により、受賞者の決定を行うものでございます。

次に、3 ページをお願いいたします。こちらには、平成29年度（第7回）咸宜園教育顕彰事業の表彰式典等について（案）を掲載しております。

本日、表彰者の決定をいただきました場合は、2月24日開催予

	<p>定の「咸宜園の日」・「咸宜園開塾200年記念事業」の中で表彰式を行う予定としております。場所はパトリア日田小ホールでございます。</p> <p>当日の第1部の式典の中で表彰式等を行いまして、続く第2部では、法政大学総長の田中優子先生による記念講演を予定しております。なお、田中先生の講演テーマでございますが、仮のお題として「近世の教育」となっておりましたが、先生から正式なテーマをいただきました。正式なテーマは「江戸時代の人々にとっての学び」というテーマでございますので、修正のほうをお願いいたします。もう一度繰り返します。「江戸時代の人々にとっての学び」でございます。</p> <p>私からは以上でございます。よろしくをお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、ただいま議案第1号について説明をしていただきました。これについて何か御質疑等がございますか。よろしいですか。</p> <p>教育文化部門で優秀賞として淡窓研究会、それから、学術研究部門では優秀賞の該当はないということであります。合わせて広瀬淡窓賞も該当がないということであります。学術研究部門では3件の応募があったものの、審査会では受賞には至らないという審査があったということですね。</p>
咸宜園教育研究センター長	<p>この3件の応募につきましては、委員の各先生方には事前に論文等をお送りして読んでいただき、当日審査を行っていただきましたが、受賞には達していないとの御判断をいただいたものでございます。</p>
教 育 長	<p>よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第1号につきましては、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、議案第1号、平成29年度咸宜園教育顕彰事業の受賞者決定につきましては、原案のとおり可決といたします。</p> <p>議案は以上でございます。</p> <p>続きまして、報告事項に入ります。</p> <p>報告第1号について説明をお願いします。</p>
書 記	<p>それでは、議案集の4ページをお願いいたします。報告第1号、平成29年12月期分寄附採納についてでございます。</p> <p>まず、地区寄附の採納でございますが、4件となっております。1件目と2件目が、清水町の井上太香美様から北部中学校と三</p>

<p>教 育 長</p>	<p>和小学校へ、図書購入費としてそれぞれ5万円を御寄附いただいております。井上様には、平成13年から毎年、同様の御寄附をいただいております。</p> <p>次に、三和小学校育友会様から三和小学校へ加湿器2台、テレビ及びテレビスタンド3台、23万3,159円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、東部中学校育友会様から東部中学校へストーブ1台、3万9,000円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に一般寄附の採納でございますが、6件となっております、まず1件目が、三本松1丁目の吉富今日子様から、音楽の授業で使い、子供たちに親んでもらいたいとのことで、三味線2挺、15万円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、大分県薬剤師会様から市内の全小中学校へ、子供たちに県の宝であります温泉に興味を持ってもらうことを目的として、書籍「飲泉スポット30 調査本2017」、31冊を御寄附いただいております。</p> <p>次に、下飛田小児科院長、下飛田毅様から桂林小学校へ、朝日写真ニュース1年分を御寄附いただいております。下飛田先生には、平成9年より、同様の御寄附をいただいております。</p> <p>次に、大山町の刀根実幸様から市内小中学校の全学級と保健室へオリジナルのチャリティーカレンダー2018、18万円相当を御寄附いただいております。刀根様からは、平成27年より、同様の御寄附をいただいております。</p> <p>次に、横浜市の大石和彦様から咸宜園教育研究センターへ、咸宜園開塾200年と日本遺産認定を祝し、1万円を御寄附いただいております。</p> <p>次に、内河町の野村千壽子様から、大半が穴観音古墳の史跡指定地であります土地、1,611平方メートルを御寄附いただいております。評価額は8万5,156円でございます。</p> <p>12月分につきましては以上10件で、金額が11万円と物品相当額74万7,315円、あわせまして85万7,315円相当の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第1号につきましては、以上でございます。</p> <p>それでは、報告第1号につきまして御質疑等はございますでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、その他についてお願いします。</p>
--------------	---

教育総務課長	<p>次回教育委員会の日程でございますが、2月22日の木曜日、午後1時30分から勉強会、午後3時から定例教育委員会を開催したいと思っておりますので、日程調整をお願いします。また、同日の午前10時から奨学資金運営委員会を開催させていただきたいと思っております。会場が、教育委員会の勉強会と定例教育委員会につきましては、アオーゼ2階、奨学資金運営委員会は市本庁舎4階の庁議室となりますので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>確認をいたします。2月22日木曜日、午後1時半から勉強会で、午後3時から定例教育委員会。それから、その日の同じく午前10時から奨学資金運営委員会。これは庁議室ですね。教育委員会、勉強会はアオーゼの2階ということで御確認いたしたいと思っております。期日等はよろしいでしょうか。それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p>予定された報告は以上でございますが、その他はございませんか。</p>
諫本教育長 職務代理者	<p>戻って申し訳ありません。</p> <p>大字内河野の土地の寄附のことですが、この土地は、穴観音古墳の左手前の位置になると思います。寄附を受けたばかりとは思いますが、穴観音古墳にとっては非常にいい場所にある土地ではないかなと思うんですが、今後の利活用の予定はございますか。</p>
文化財保護課長	<p>文化財保護課でございます。今回の土地につきましては、先ほどの説明のとおり、国指定史跡の穴観音古墳の指定区域内の用地でございます。指定区域内では開発の制限等もございますので、野村様から、現在畑でございますが、耕作もしておらず、今後維持管理もできないような状況ということで、市に寄附したいということでの申し出でございます。</p> <p>それで、市といたしましても、今後の史跡整備にはぜひとも必要な土地でございますので、受け入れを決定させていただきました。</p> <p>また、今後の活用につきましては、当然穴観音古墳の整備として行いますが、御寄附をいただいた土地には一部指定地外の部分もございます。穴観音古墳には、車の転回場所がなく、また駐車場もないことから、この指定地外の部分については、駐車場としての利用を考えております。</p> <p>以上でございます。</p>

教 育 長	<p>ほかにございませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは、ほかにないようですので、以上をもちまして、1月の定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時19分</p>
-------	---